



ごあいさつ

照りつける日差しと唸るような暑かさが続く今日此の頃夏本番真っ只中では御座いますが皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

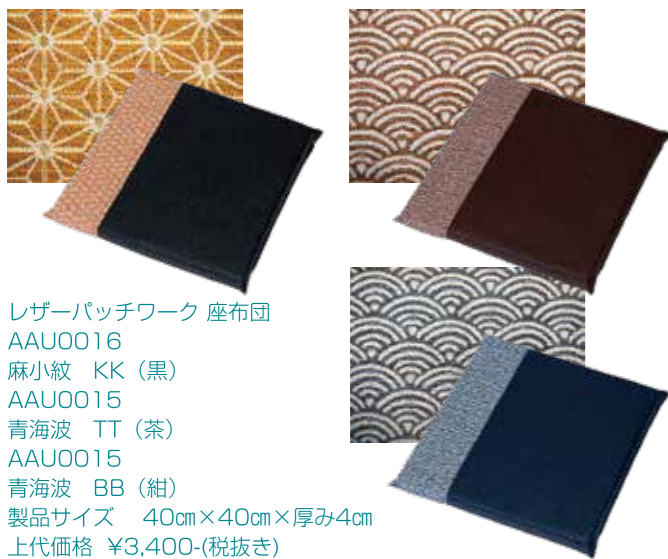
私はと言うと、一日の終わり汗をかいた分だけ美味しくなるキンキンに冷えたビールがもっばらの楽しみとなって御座います。

さて新元号令和となり早二ヶ月が経ち、初めて迎える夏。人生100年時代と言われる中、私においてはまだまだ30歳を少し超えたばかりではありますが、新年号最初の夏を迎える事はこの先数えるほどあるかわりませんので、イベント事が多いこの季節、これまでしそびれた事や出来なかった事を、仕事プライベート問わずトライして、皆さんとっしょに思い出に残る“初めての夏”にして行きたいと願っております。

商品紹介

今回ご紹介する商品は、PVCレザーと布のパッチワーク座布団です。

通常のPVCレザーですと、裏表がレザーの為どうしても無機質で冷たい印象ですが、温かみある織の生地と合わせメリハリをつけてこちらの商品は製作致しました。



レザーパッチワーク 座布団
AAU0016
麻小紋 KK (黒)
AAU0015
青海波 TT (茶)
AAU0015
青海波 BB (紺)
製品サイズ 40cm×40cm×厚み4cm
上代価格 ¥3,400-(税抜き)

亀蔵小紋

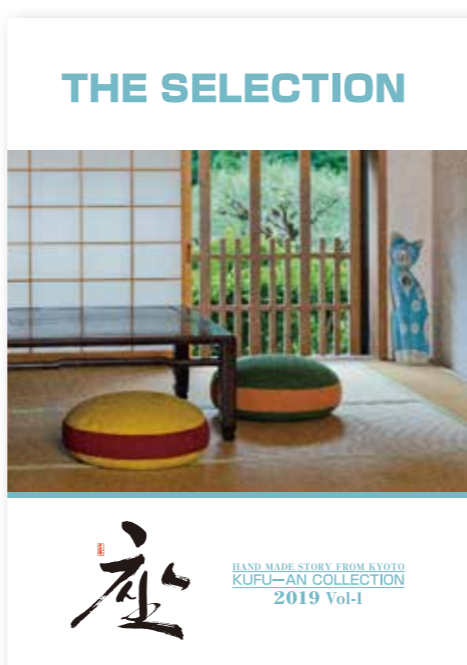


今回ご紹介するのは渦巻き紋様を散らした小紋「亀蔵紋様」をご紹介致します。江戸時代に中期に活躍した、歌舞伎俳優の九代目：市村亀蔵が着用し流行となった柄で、その渦柄には「幸運を巻き取る。」という縁起ものの柄とされています。また、右巻きは陽、左巻きは陰と渦の向きによって意味が異なり単純な柄ではありますが、奥の深い柄となっております。夏の風物詩である蚊取り線香など皆様の身近な渦に目を向けられては如何でしょうか？

耳より情報

大好評!! 2019年版「ちびカタログ」が出来上がりました!

弊社座布団・暖簾総合カタログの中から売れ筋商品やこだわり商品、カタログだけではご紹介しきれない商品のことなどを集めた小冊子「THE SELECTION」を制作致しました。総合カタログでは重量もあり持ち運びに苦労されるかと思えます。是非ちびカタログを鞆へ忍ばせて頂きご活用の程宜しくお願ひ致します。



皆様でご覧ください。

京都のお店紹介



京都で焼肉店と言えば、“焼肉の名門 天壇”。1965年京都祇園で創業し、京都人であればその名を知らない人はいない程の歴史あるお店です。今回そんな名高い名店に、弊社の座布団を納入させて頂きました。

店内はテーブル席だけでなく、小上がりの和室が設けられており、高級感ある空間を更に引き立てるために、汚れに強く汎用性の高いレザー座布団ではなく、敢えて布地の座布団をお選び頂きました。プラスαで、汚れ防止のため特別にパールトーン加工を施して、見た目は変わりなく高級感をそのままに、長くきれいにお使いいただける仕様となっております。

*パールトーン加工とは、着物などの汚れ防止に開発された撥水加工で、通気性を残し汚れをつきにくく開発された加工方法です。

京都焼肉の名門 天壇 TheDining 山科店
京都府京都市山科区大宅烏田町12 TEL : 075-501-4129 URL : <https://www.tendan.co.jp/yamashina/>

京のスイーツ お抹茶ブーム続く!!

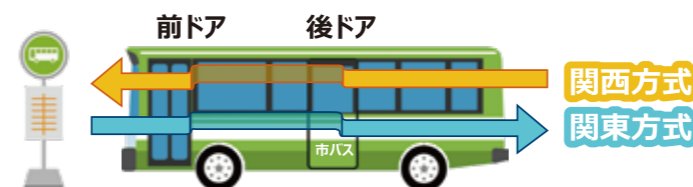


今回は夏にぴったり! ひんやり甘くて、しかも一口一杯に広がるお抹茶も味わえる欲張りスイーツを皆さんにご紹介します。千二百余年の歴史をいざき伝統を守りながら時代に合ったものを取り入れてきた京の街“祇園”に「京都祇園あんの本店」は有ります。町家を改装して作られた店内は、ゆったりとした音楽といつまでも居たくなるようなしっとりとした時間が流れ、ホッと一息つける格別の空間です。さっぱりとした口当たりの自家製クリームにたっぷり入った粒あん、香り高い丸久小山園のお抹茶を使用したジュレと濃厚なアイスには香ばしい最中皮が添えられた「あんぱーねパフェ」を頂きました。看板メニューのさくさくで香ばしい最中皮に餡と自家製クリームをサンドする「あんぱーね」は複数のメディアにも取り上げられる程で、お店の雰囲気もさる事ながら味もお墨付きです!

京都祇園あんの本店
京都府京都市東山区清本町368-2 TEL : 075-551-8205 URL : <https://www.a-n.kyoto.jp/>

京都豆知識??

皆さんの毎日の生活で移動手段としてのバス。京都においては、後方乗車/前方降車：後払いの関西方式と東京での前方乗車/後方降車：先払いの関東方式があり、地域によりその乗り降りの方法が異なる事をご存知でしょうか。前乗車/先払いには関東圏の通勤ラッシュ時などの混雑を軽減する考えがあると言われています。京都でも近年、外国人観光客の方の増加により、駅周辺や観光名所近辺での混雑は、「バスに乗れない!」という住民苦情に発展する深刻ぶり、前乗り後降り方式を取り入れる流れや一部生活路線と観光路線を分離する試みも始まっています。



通りがかりや一見のお客に対して使用する「おいでやす」と、予約客や遠方客に対して使用される「おこしやす」。微妙な違いではありますが、京都弁ならではの細かな気遣いを感じるこの一言。京都へお越しの際、皆様も耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

